

TOM'S SPiRiT

スーパー耐久シリーズ 2019
オートポリス
2019年7月20日(土)

予選

天候:曇りのち雨 路面:ドライのちウエット



7月20日(土)、台風の接近と前線の影響により、不安定な天候の下、今シーズンの折り返しとなる第4戦の予選が九州はオートポリスにて行われた。

- 木曜午後からの専有走行(1.5h)は、路面が徐々に乾いていくダンプ状態、金曜の専有走行(1.5h/2h)は、小雨がパラついたもののドライ路面での走行となった。
- Aドライバー坪井選手、Bドライバー中山選手ともにドライ路面でのアタックとなり、合算タイムで開幕戦から4戦連続でのポールポジション獲得となった。
- Cドライバー松井選手の予選時には、降雨がありウエット状態での決勝に向けた確認作業を行った。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	1位	2'05.857
中山雄一			2'06.451
松井孝允			2'16.470

気 温	26.2℃
路面温度	30.9℃

※Aドライバー予選時



坪井 翔【Aドライバー】

朝のフリー走行の感触的には予選は良いタイムが出るのではないかとおりましたが、グリップ感が無く思ったようなアタックができませんでしたが、ポールを取る事ができたので、まずは貴重な1ポイントを取れました！

中山雄一【Bドライバー】

坪井選手のアタックにより結果的にポールポジションを獲得できました。他のマシンも全体的にAドライバー予選からBドライバー予選にかけて、タイムは落ちていたものの、それ以上に自分のアタックが上手くまとまりませんでした。原因は理解しているので、次回に向けしっかり改善したいと思います。

松井孝允【Cドライバー】

フリー走行からドライでのセットは安定していたので、坪井選手、中山選手が良いアタックをしてくれてポールポジションを獲得してくれました。Cドライバー予選では、雨が降ってきたのでセットも確認しましたが少しペースが遅いなと感じていました。

三塚 隆【チーム代表/監督】

A、Bドライバーともに路面コンディションが悪く、想定していたタイムには届きませんでした。両ドライバーの頑張りにより、ポールポジションを取る事ができました。チャンピオン争いに貴重な1ポイントが取れて良かったです。Cドライバーには、レースに向けた最終確認を行っていただきました。明日の決勝も頑張ります。

TOM'S SPiRiT

スーパー耐久シリーズ 2019
オートポリス
2019年7月21日(日)

決勝



ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	1位	2'16.044
中山雄一			2'08.471
松井孝允			2'07.709

気温	23.1℃
路面温度	25.9℃

※グリッドスタート時

天候: 雨時々曇り 路面: ウエット/ドライ

- 朝のウォームアップ走行は、降雨は無かったもののウエット路面。9時からのピットウォークが始まる頃になると豪雨となる。しかし、グリッドウォーク時にはほぼ雨は止んだが、レインタイヤで5時間レースのスタートを切る事となる。
- スタートドライバーは坪井選手。レインタイヤでのペースに苦しみ徐々に順位を落とし4番手まで後退してしまう。
- 徐々に路面が乾き始めた10周目に1回目のピットイン。ドライタイヤに交換し、中山選手へとドライバー交代。
- 16周目と24周目にFCYが導入されたが、ステアアウトし46周目に2回目のピットイン。給油とタイヤ交換をし、松井選手にドライバー交代。92周目にはトップへと返り咲く。
- レース終盤に降雨の可能性もあり、レインタイヤへの交換と給油のタイミングを見計らいギリギリまで最後のピットインを延ばし、雨が強くなってきた103周目にピットインし再び坪井選手へドライバー交代するも、108周目には天候悪化によるFCY導入からSC導入となり、残り13分で赤旗が出されレース終了となった。



坪井 翔【Aドライバー】

ポールスタートから荒れたレース展開の中、最初のステイントは予想以上に苦しかったです。2、3ステイントでドライコンディションとピットタイミング、ピットワークの素晴らしさでトップに返り咲く事ができました。最後、雨量により赤旗でレースが終わりましたが、勝たなければいけないレースをしっかり取れて良かったです！

中山雄一【Bドライバー】

悪天候の中、目まぐるしく変化する路面コンディションにチームの作戦がしっかりとマッチしていました。ドライバー、メカニックにミスは無く、実力を発揮できたレースだったと思います。残り2戦を優勝し、チャンピオンを獲得するため、チームの団結力はどんどん増えています。攻めの姿勢で戦い抜きたいと思います。

松井孝允【Cドライバー】

坪井選手がウエットからのスタートでかなり苦戦を強いられ順位を落としましたが、ピット作業で挽回してくれたので中山選手、僕、坪井選手と順調にバトンを繋ぎ優勝する事ができました。チャンピオンに向けて残り2戦も気を引き締めて頑張ります！応援ありがとうございました！

三塚 隆【チーム代表/監督】

スタートドライバーの坪井選手は、路面と車両がマッチングしておらず3台に先行されてしまいましたが、戦略を変更して次の中山選手、松井選手で追撃を開始しました。目まぐるしく変わる天候を味方にし、ドライバー、チームがミス無く心がひとつになった結果の優勝だと思います。次戦もてぎも連勝目指して頑張りますので、応援宜しくお願いします。